

教育研究業績書記入要領

○研究分野及び研究内容のキーワード

「研究分野」の欄には、研究分野の主なものを記入してください。「研究内容のキーワード」の欄には、研究内容を表すキーワードを記入してください。

○教育上の能力に関する事項及び職務上の実績に関する事項

- ①「事項」の項には、各区分に該当する担当予定授業科目に関連する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。
- ②「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。（和暦でご記入下さい。）
- ③「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。
- ④「教育上の能力に関する事項」の例
 - ア 「1 教育方法の実践例」について
 - 授業外における学習を促進する取り組み、授業内容のインターネット上での公開等
 - イ 「2 作成した教科書、教材」の例
 - 授業や研修指導等で使用する著書、教材等
 - ウ 「3 教育上の能力に関する大学等の評価」
 - 評価をしておりませんので空欄
 - エ 「4 実務の経験を有する者についての特記事項」
 - 大学から受け入れた実習生等に対する指導
 - 職能団体の依頼による研究指導等
 - 企業提携・研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修
 - 大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等
 - 企業における実務経験等
 - オ 「5 その他」
 - 大学教育に関する団体等における活動、教育実績に対する表彰等
 - 国家試験問題の作成等
 - 社会教育に関する活動等
- ⑤「職務上の実績に関する事項」の例
 - ア 「1 資格、免許」
 - 医師、薬剤師、教員等の資格について記入
 - 外国における資格にあつては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記
 - イ 「2 特許等」
 - 特許、実用新案等を記入
 - ウ 「3 実務の経験を有する者についての特記事項」の例
 - 大学との共同研究

- 企業提携・研究開発等の担当実績
 - 各種審議会・行政委員会・各種ADR等の委員
 - 行政機関における調査官等
 - 研究会・ワークショップ等での報告や症例発表
 - 調査研究、留学、海外事情調査等
 - 上記を裏付ける報告書、手引き書、マニュアル、雑誌等
 - 企業における実務経験等
- エ 「4 その他」
- 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等
 - 外部委員等
 - 学産官共同研究に関する業績
 - 外部資金獲得状況等

○研究業績等に関する事項

- ①「著書、学術論文等の名称」の項について
 - ア 研究等に関連する主要な業績を、「(著書)」、「(学術論文)」、「(プロシーディング)」、「(解説記事等)」の項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。
 - イ 著書については、書名を記入してください。
 - ウ 学術論文については、学術雑誌、学会機関紙、研究報告、紀要等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については、その旨を明記してください。
 - エ その他については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。
- ②「単著・共著」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。
- ③「発行又は発表の年月」の項には、当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。
- ④「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項について
 - ア 著書については、発行所を記入してください。
 - イ 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載頁等を明記してください。
 - ウ 報告発表等の場合には、学会名、開催場所等を明記してください。
- ⑤「概要」の項について
 - ア 当該著書等の概要を200字程度で記入してください。
 - イ 当該著書等が共著の場合には、本人の担当部分の章、節、題名、掲載頁を記入するとともに、本人の氏名（下線を付してください）を含め著作者全員の氏名（多数にわたる場合は主要な共著者の氏名）を当該著書等に記載された順に記入してください。また、本人の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入してください。